

令和7年度第5回 運営推進会議議事録 (認知症対応型共同生活介護)

事業所名（種別）	「ずいうんホームねりま」（種別：認知症対応型共同生活介護）		
所在地	練馬区高松 3-10-8		
開催日時	令和 8年 1月 19日 月曜日 15:00 ~ 16:00		
開催場所	「ずいうんホームねりま」2階フロア		
出席者内訳	利用者	1名	K様
	利用者家族	1名	T様（看護小規模多機能型居宅介護利用者家族）
	民生委員・町会役員・地域代表	1名	O様（町会役員）
	知見者	0名	
	練馬区・地域包括支援センター職員	1名	池上様（練馬高松園地域包括支援センター・地域コーディネーター）
	事業所職員	4名	久保田（管理者）岡部（介護士）作間（看護小規模多機能型居宅介護相談員）土谷（介護支援専門員）
	その他	1名	寺内様（高松小学校ねりっこクラブ代表）
議題 ※別紙での説明がある場合は、「別紙のとおり。」と記載することで省略可能。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会・挨拶 2. 運営指導の報告 3. 利用者状況 4. 活動報告 5. 地域連携の取り組み 6. ボランティア関連 7. 事故防止・ヒヤリハット 		
報告内容 ※別紙での説明がある場合は、「別紙のとおり。」と記載することで省略可能。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会・挨拶 （事務長） 令和7年12月18日に運営指導が実施されたことを踏まえ、指摘内容を真摯に受けとめ、今後の業務改善と質向上に取り組んでいく旨を述べた。 2. 運営指導の報告 令和7年12月18日に実施された運営指導について報告した。今回の指摘は書類整備および運用改善を求められるものであり、対応可能な範囲の内容であった。 主な指摘は以下のとおりである。 <ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画（BCP）の一部項目の見直し ・研修記録の整理 ・秘密保持に関する書類の確認 ・虐待防止指針の項目追加 ・衛生管理（物品の個別管理） ・被保険者証記載の運用改善 ・協力医療機関連携加算における会議録の整理 ・特に 医療連携体制加算 については、 <p>※重症化対応指針および入居時の説明・同意取得に係る運用が「過誤請求となり得る重要項目」とであると指摘された。この点については重く受けとめ、自治体の指示に基づき必要な是正と確認を速やかに行っていく所存である。</p> <p>全体として重大な不備はなく、既存の取組を補強することで改善できる内容であった。</p> <p>引き続き適切な運営に努めていく。</p> 		

	<p>3. 利用者状況（1月19日現在） 入居者数：9名 要介護度：1（1名）、2（2名）、3（2名）、4（2名）、5（2名） 平均年齢：81.7歳 特段の大きな変動はなく、概ね安定した生活状況である。</p> <p>4. 活動報告（過去2か月） （1）誕生日会の実施 （2）移動スーパー「いなげや」の定期訪問（第1・第3月曜） （3）ずいうん喫茶（月1回） （4）外部交流企画（ねりっこクラブ クリスマス会） （5）ケアストレッチ（希望制／外部講師） （6）声活（声の活動）の実施（1月16日）※新規 （一社）ソフィアの森の朗読・音読指導士を招き、声を出す活動を実施する。軽いストレッチ、腹式呼吸、滑舌練習、詩の朗読、二人読みなどを行い、表情筋や口腔機能の刺激、想像力の活性化、回想法の効果などが期待できる内容である。初回は2月18日（水）11時に実施予定である。</p> <p>5. 地域連携の取り組み 高松にこにこ会への参加（絵手紙・体操・ウクレレ等） ねりっこクラブとの継続的な交流 地域との関係は良好であり、外出・交流機会の確保に繋がっている。</p> <p>6. ボランティア関連 絵画、手芸、音楽、子どもとの交流など、地域からの紹介が増加傾向 マッチングには時間を要するため、継続して調整を行う 利用者が成功体験を得られる活動を中心に受け入れを検討する</p> <p>7. 事故防止・ヒヤリハット 【グループホーム】 転落事故1件（トイレ便座からの転落） →救急搬送されたが大事には至らず。見守り位置の見直しと環境調整を実施。引き続き、「小さな気づきを職員間で共有する」姿勢を徹底し、未然防止に努める。</p>
<p>出席者からの評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体として、日常生活支援や活動が安定して提供されている点が評価された。特に、地域交流や声を出す取り組み（声活）など、新しい活動が取り入れられていることは、利用者の意欲や表情に良い変化をもたらしているとの意見があった。 ・運営指導への対応については、指摘内容を整理し、改善に向けて順次取り組んでいる姿勢が確認できた点が評価された。特に医療連携体制加算に関する指摘を重要視し、速やかな対応を進めていることは適切であるとの意見が寄せられた。 ・事故再発防止に関しても、個々のケースに対する具体的な見守り改善や環境調整が行われており、事業所としての対応は妥当であると評価された。 ・地域との連携が継続して図られており、にこにこ会やねりっこクラブとの活動も安定して行われている点については、今後も継続してほしいという声があった。 ・全体として、利用者の状態に応じた支援が丁寧に行われており、事業所の取り組みは適切であるとの評価が示された。 ・必要であれば、この評価文を議事録全体に組み込んだ 最新版フルセットもお作りします。
<p>要望、意見および助言と事業所の回答</p>	<p>ア. 利用者が安心して過ごせる日常環境の継続に関する要望 出席者から、これまでと同様に無理のない生活リズムを大切に、利用者が安心して過ごせる環境づくりを継続してほしいとの意見があった。 〈事業所の回答〉 利用者一人ひとりの体調や気分に応じて過ごせる環境を維持し、過度な刺激を避けつつ、見守りと声かけを適切に行っていく方針である。</p> <p>イ. 転倒防止と動線の安全確保に関する助言 共有スペースでの動線や他利用者との関わりの中で転倒リスクに配慮してほ</p>

	<p>しいとの助言があった。 〈事業所の回答〉 居室および共有スペースの環境を定期的に点検し、転倒につながりやすい動作には職員が適宜見守り・介助を行う。また、利用者同士の関係性の変化を日々観察し、トラブルやリスクの予防に努める。</p> <p>ウ. 外部交流や活動参加の継続に関する意見 地域との交流機会が利用者の意欲や活気につながっているため、今後も継続してほしいという意見があった。また、声活のような新しい取り組みも良い刺激になっているとの声があった。 〈事業所の回答〉 地域交流事業については今後も連携を継続し、利用者が無理なく参加できる範囲で計画していく。新規活動についても安全性を確認しながら取り入れていく。</p> <p>エ. 運営指導への対応に関する助言 運営指導における指摘事項のうち、とくに医療連携体制加算に関する指摘は重要であるため、速やかに対応を進めてほしいとの助言があった。 〈事業所の回答〉 医療連携体制加算に関わる指針整備および入居時の説明・同意取得については、過誤請求につながる可能性があるため、最優先で是正に着手している。その他の項目についても順次整備を進め、適切な運営に努める。</p>
<p>その他</p>	<p>なし</p>
<p>次回の開催予定</p>	<p>日時：令和 8年 3月 13日 金曜日 15：00 ～ 15：30 場所：「ずいうんホームねりま」</p>